



昭和中だより

ハートフル昭和

<http://www.city.akishima.ed.jp/~showa/>



令和7年5月30日

第3号

昭島市立昭和中学校
校長 渡部 尚

より良い言語環境に！

私たちは日々、言葉によってコミュニケーションを取っています。人と対面しての会話を始め、SNSを介した会話も含め、様々な言葉を発信・受信しています。

言葉の力は大きいもので、言葉掛けひとつで人の心を温かくする一方、その逆になってしまうこともあります。それだけに、言葉の環境（言語環境）がより良いものであればあるほど、皆が心穏やかに生活することができます。



さて、「言葉」について、多くの著名な人たちが名言を残していますので、いくつかご紹介します。

- ★ 一度口にした言葉は、決して元には戻らない。（杵野俊明）
- ★ 言葉は薬にもなれば、凶器にもなる。（斎藤茂太）

感情や勢いに任せて言葉を発してしまうと、知らず知らずのうちに人を傷つけてしまうことがあります。また、自分は本気で言ったわけではなくても、人によって感じ方は異なり、大きく傷つけてしまう場合があることも心に留めておく必要があります。（「死ね」「うざい」などはその代表的な言葉です）

- ★ 「できない」という言葉を安易に使うな。その瞬間から努力は止まる。（孫正義）
- ★ あなたの使う言葉があなたの人生を操っている。（アンソニー・ロビンズ）
- ★ いつもニコニコして、良い言葉を使いなさい。それだけで幸せになれるんだよ。（斎藤一人）

言葉は、自分に対しても、ものの考え方や心に影響を与え、人生を変えることにつながります。苦しくても、自分に対して「まだいけるぞ！」「俺、頑張ったぞ！」「大丈夫！」などと常にプラスの言葉を掛けていくことができれば、物事はきっと好転します。また、そういう人は周りも応援したい気持ちになります。

- ★ 言ってほしい言葉を言ってほしい表現で言ってくれる人を、人は好きになる。（林修）
- ★ 自分は誤解されやすいと思ったら、言葉が足りているか反省してみる。（美輪明宏）

自分が言葉を掛けてもらう立場で考えると、ヒントが見えてくるかもしれません。困っている時、苦しい時、頑張った時・・・自分はどんな言葉をかけてほしいのか。また、どんな話し方をされたら素直に受け止められるのか。過去の経験を思い出したり、身近にモデルとなる人を見つけたりして、自分に活かしてみよう。

今回は、言葉について考えてみました。本校では、「勇気づけ言葉」を推奨しています。言語環境をより良くするために、生徒・教職員皆で、改めて前向きな言葉を掛け合うようにしていきましょう。

6月 行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	日		17	火	
2	月	振替休業日	18	水	期末テスト(始)
3	火		19	木	
4	水	体育祭予備日1 職員会議	20	金	期末テスト(終) 1組球技大会
5	木		21	土	
6	金	体育祭予備日2	22	日	
7	土		23	月	朝礼 安全指導
8	日		24	火	専門委員会
9	月	生徒会朝礼	25	水	性に関する授業(3年)
10	火	開校記念日	26	木	中央委員会
11	水	小中連携の日	27	金	
12	木		28	土	
13	金	ハートフル教室(3年)	29	日	
14	土		30	月	生徒会朝礼
15	日				
16	月	避難訓練 水泳指導(始)			

●夏服移行が始まりました

5月から夏服への移行が始まっています。お伝えした通り、今年度から標準服の夏服に変更(追加)があります。「ポロシャツは白だけでなく「紺(ネイビー)でも可」となりました。必要に応じて、ご用意ください。

